

ときわの風

発行：常磐大学同窓会
編集：常磐大学同窓会事務局
水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）
電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

学校法人常磐大学開学100周年

学校法人常磐大学は、2009年の今年、創立者諸澤みよ先生が、水戸市馬口労町に裁縫伝習所を開設した1909（明治42）年から数え、今年で100周年を迎えました。

開学100周年記念事業におけるこれまでの取組み

学校法人常磐大学では、この開学100周年を記念して、2004年度から2013年度までの10年間を100周年記念事業期間とし、これまでさまざまな事業の展開に取り組んできました。

具体的には、常磐大学大学院被害者学研究所の設置を機に「芝浦サテライトキャンパス（港区芝浦）」の開設（2004年）、本会総会及び懇親会でも利用している「同窓会館」の開館（2005年）、「情報メディアセンター」の開設（2005年）、一時預かり保育室「常磐大学ナースリー・Popo」の開設（2006年）、「諸澤みよ記念館」の開館（2006年）、「地域連携センター」の設立（2007年）、「智学館中等教育学校」の開校（2007年）が挙げられます。



水戸常磐女学校時代の裁縫の授業風景（1933年）



智学館中等教育学校校舎（2008年）

情報メディアセンターは、自由に使えるパソコンを多数配置したPC教室のほか、語学学習の機能が充実したPCを設置しているコルラボ、CG合成など情報を加工した新コンテンツの制作も可能なバーチャルスタジオなどを完備した情報拠点です。

水戸市中心部の大型商業施設内に開設された一時預かり保育室「常磐大学ナースリー・Popo」では、地域における多様な子育て支援を行っています。また、同窓会館協会の「諸澤みよ記念館」では、創立者諸澤みよ先生の生涯と常磐の歩みを分かりやすく展示紹介しています。地域連携センターは、地域連携活動に関する「総合窓口」として機能

し、学内資源を開放して、地域社会の発展や高度化に貢献するため活動しています。智学館中等教育学校は、「人間の尊厳を大切に世界を視野で考え行動できる人材を育てる」を教育の基本理念として開校しました。この理念のもとさまざまな分野のエキスパートたちの支援を受けながら、21世紀にふさわしい新しい中等教育の未来へチャレンジしています。

今後計画している開学100周年記念事業

学校法人常磐大学では、本年、開学100周年を記念した「開学100周年記念式典」の開催、「第13回国際被害者学シンポジウム」の開催をはじめとして、様々な記念事業の企画を検討し、推進しています。

同窓会員の皆様、この開学100周年事業により新設された施設の見学を兼ねて、今の常磐大学に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。本会も一昨年設立20周年を迎え、今後も法人とともに同窓会活動がますます活発となりますよう会員の皆様の更なるご支援、ご協力のほど、よろしく申し上げます。



常磐大学見和キャンパスの現況（2008年）

年	法人沿革	同窓会沿革
1909年	裁縫伝習所開設	
1922年	水戸常磐女学校設立認可	
1935年	常磐高等女学校設立認可	
1944年	財団法人常磐高等女学校設立認可	
1946年	（法人）名称変更「財団法人常磐高等女学校」↓「財団法人常磐学園」	
1948年	学制改革により総合制の常磐女子高等学校設立（普通科、被服科、商業科、別科）	
1951年	私立学校法により学校法人常磐学園設立認可	
1966年	常磐学園短期大学設立認可（家政科家政専攻、家政科食物栄養専攻）	
1968年	（短期大学）「幼児教育科」設置認可	
1969年	常磐学園短期大学附属幼稚園設立認可	
1975年	常磐大学「教養科」設置認可	
1983年	常磐大学設立認可（人間科学部人間関係学、人間科学部コミュニケーション学）	
1987年	（短期大学）名称変更「教養科」↓「教養学」↓「幼児教育科」↓「幼児教育学」	
1988年	「家政科家政専攻」↓「生活科学科生活科学専攻」	
1988年	「家政科食物栄養専攻」↓「生活科学科食物栄養専攻」	
1989年	常磐大学大学院人間科学研究修士課程設置	
1990年	（法人）学園のシンボルマーク制定	
1993年	（短期大学）名称変更「常磐学園短期大学」↓「常磐大学短期大学」	
1996年	（大学院）人間科学研究修士課程（後期）設置	
1999年	（短期大学）名称変更「常磐大学短期大学」↓「常磐短期大学」	
2000年	（幼稚園）名称変更「常磐大学短期大学附属幼稚園」↓「常磐短期大学附属幼稚園」	
2001年	（大学）コミュニケーション振興学部設置（コミュニケーション文化学科、ヒューマンサービス学科）	
2001年	（高等学校）名称変更「常磐女子高等学校」↓「常磐大学高等学校（男女共学化）」	
2002年	（短期大学）学科名称変更「幼児教育学科」↓「幼児教育保育学科」	
2003年	常磐大学国際被害者学研究所開設	
2003年	（短期大学）改組「教養学」↓「経営情報学」↓「キャリア教養学」	
2004年	（大学）改組「人間科学部（人間関係学）」「組織管理学科」↓「心理教育学」↓「現代社会学」↓「国際学部（国際協力学）」「国際ビジネス学」↓「国際関係学」↓「国際協力学専攻」「国際ビジネス学専攻」	
2005年	（英米語学）（大学院）コミュニケーション振興学修士課程設置	
2005年	（法人）名称変更「学校法人常磐学園」↓「学校法人常磐大学」	
2005年	（大学院）被害者学修士課程設置（幼稚園）名称変更「常磐短期大学附属幼稚園」↓「常磐大学幼稚園」	
2006年	（大学）コミュニケーション振興学部地域政策学増設	
2007年	（短期大学）「教養学」廃止	
2007年	智学館中等教育学校設立認可	
2008年	（大学）人間科学部健康栄養学設置認可	
2008年	（大学）改組「人間科学部現代社会学科（組織管理学コース）」「国際学部国際関係学（国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻）」「国際学部経営学（人間科学部心理教育学）」「人間科学部心理学」「同教育学」	
2008年	（大学・短期大学）改組「短期大学」「生活科学科食物栄養専攻」↓「人間科学部健康栄養学」↓「短期大学」改組「生活科学科生活科学専攻」↓「キャリア教養学」	
		会報「ときわの風」創刊 O棟1階インターネットカフェ「ハッパ」カウンスターの4号「椅子12脚」寄贈 記念体育館「源氏幕」寄贈 設立20周年記念講演会（安藤和津氏）支部細則制定 在学生表彰の創設
		総会・懇談会・講演会（田崎真也氏） L棟食堂に「プロジェクト」式寄贈 総会・懇談会・講演会（陣内貴美子氏）以後総会・懇談会は毎年開催「テレビ2台」寄贈 「プリント20張」寄贈 記念体育館「舞台」寄贈

第39回明治神宮野球大会初出場、初勝利!

常磐大学硬式野球部は、2008年度秋季関東甲新学生野球リーグ1部で2位となり、第4回関東地区大学野球選手権大会への初出場が決定しました。勢いに乗る硬式野球部は、横浜スタジアムで行われた第1回戦、国際武道大学に7-1で勝利し、続く準決勝で流通経済大学を4-3で下しました。そして決勝では、創価大学に1-5で敗れはしたものの、準優勝を果たし、創部以来の悲願である明治神宮野球大会(全国大会)に駒を進めました。

明治神宮野球大会は、地区大会を勝ち抜いた10大学がトーナメント方式で戦います。初戦は、北陸・東海3連盟代表の愛知学院大学。常磐大学は1回表に1点を先制されるも、その裏には2点を返し、3回にも追加点を上げました。吉岡興志投手の好投で1失点に抑え、3-1で全国大会での初勝利を収めました。そして11月17日、4強入りをかけて戦う



準々決勝の相手は、関西5連盟第一代表で、全国大会常連の立命館大学。ミスが続き、4失点。相手投手の切れの良い投球に打線も抑え込まれ、0-4で涙を吞みました。



準決勝進出は叶わなかったものの、関東大会に初出場を果たし、久保田智之投手(阪神)や小野寺力投手(西武)も果たせなかった神宮球場の土を踏みしめ、1勝をもぎ取った硬式野球部。大きな舞台を経験した硬式野球部の今後の活躍にも大いに期待したいです。



また、今回の硬式野球部の活躍の影には、吹奏楽団OB・硬式野球部OB・その他多くの同窓生達の協力がありました。試合中の応援曲の演奏や物品寄贈などの活動支援、そして多くの同窓生が神宮球場に訪れ、グラウンドの選手達を応援しました。全国大会での1勝は常磐大学の在学生・教職員・卒業生が一丸となって勝ち取った価値あるものとなりました。



○2008年度秋季 リーグ戦績
関東甲新学生野球リーグ1部

常磐大学	2-1	作新学院大学
常磐大学	1-9	作新学院大学
常磐大学	6-2	作新学院大学
常磐大学	1-0	平成国際大学
常磐大学	0-8	平成国際大学
常磐大学	6-6	平成国際大学
常磐大学	3-2	平成国際大学
常磐大学	0-4	上武大学
常磐大学	0-1	上武大学
常磐大学	2-6	山梨学院大学
常磐大学	1-6	山梨学院大学
常磐大学	1-2	白鷲大学
常磐大学	2-1	白鷲大学
常磐大学	2-1	白鷲大学

1部リーグ2位

2008年度 春セメスター 同窓会長奨励賞授与

学長奨励賞受賞者の遠藤愛美さん(国際学部英米語学科3年)に記念品のボールペンが同窓会より授与されました。遠藤さんは、中国人留学生のチューター活動や、学内外における中国四川大地震募金活動での中心的な活動など、日本人と中国人の橋渡しとしての活躍が認められました。

2008年度 学生支援事業報告

- 学園祭への援助金 5万円
- 硬式野球部関東大会及び全国大会出場に係る支援金 68万円

MESSAGE

風に吹かれて

サクサク、ザクザクいやザクザクか…… 人気のない日曜のキャンパスの庭にふきだまつた落ち葉を踏む。乾いた音ですが、靴底を通して枯れ葉が大地と僕とをつないでくれるような感じがします。

いつだったか、常磐大学の入学案内パンフレットを、その庭にはじめて集った第1期生全員の笑顔が揃った写真が飾ったことがありました。だれのアイデアだったか忘れませんが、今の情報メディアアセンターがある場所に建っていた合宿所の2階から入学式のあとに撮った写真です。その時、桜の花びらが舞っていたかどうか定かではありません。また、キャンパスの木々はまだ青い若葉を息吹いてはいなかったと思います。でも、そこに集った笑顔たちには、

自分たちがこれから創っていく常磐大学の未来を信じて若葉を開こう、新しい風を吹かせよう、とする若々しい明るい意気込みがふられていました。まだ18歳そここの面々です。

それ以来、皆さんが吹き続けた25年の風が今の常磐大学の風紋を形づくり新たな風を起し続けています。皆さんが吹き続けてきた風は、ある時は厳しく冷たい風であり、ある時は心地よいやさしいそよ風でした。僕たちはその風に吹かれながら舞ってきただけの木の葉だった

のかもしれないし、その舞いは拍手をもらえるようなものではなかったとも思います。でも、これらの風々が丘の木々を育て守り、今も僕が踏みしめる枯れ葉を落とし、また新芽を生んでくれていきます。そうした風を吹き起こす源は皆さんでした。これからも心地よい風に乗りにながら舞っていきたくと思っています。そう言えば、誰かの歌に 風に吹かれて というのがあります。



人間科学研究科・人間科学部教授
柄澤 行雄 先生
慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。
社会学修士。専門：社会学。
日本社会学会、日本村落研究学会、地域社会学会会員。

ご結婚された方

- 小田 資さん「国際学部5期」
- 小田 文さん「国際学部5期」(旧姓 富岡)
- 吾郷 美加さん「人間科学部12期」(旧姓 萩野台)
- 菅谷 敦子さん「国際学部1期」(旧姓 船山)
- 杉山 剛さん「人間科学部18期」
- 杉山 裕美さん「国際学部5期」(旧姓 樋口)

掲載文募集

同窓会事務局では、会報「とぎわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上8000字程度でお願いします。)なお、掲載された方には、薄謝進呈いたします。

[送付先] T-Editorial 常磐大学同窓会事務局 または、dosokai@tokiwa.ac.jp

編集後記

2008年のニュースで、メジャーリーグへ挑戦する日本人選手の先駆者であった野茂投手が、現役引退したことについて印象的でした。本学でも野球に関する話題があり、プロ野球ドラフト会議で吉岡投手、卒業生の矢貫投手が指名を受けたこと、硬式野球部が明治神宮野球大会に初出場したことなど、喜ばしいことが続き盛り上がりました。今後ますますクラブ・サークル活動が進展していくことを期待しています！(〇)